

# 交換職-設定マニュアル（Bluetooth 接続編）

---

■本資料は、お買い上げ頂いた交換職に Bluetooth で携帯電話を接続し、マイ番号に登録した携帯電話との発着信回線として利用できるようにするための設定方法を説明するものです。

# 改版履歴

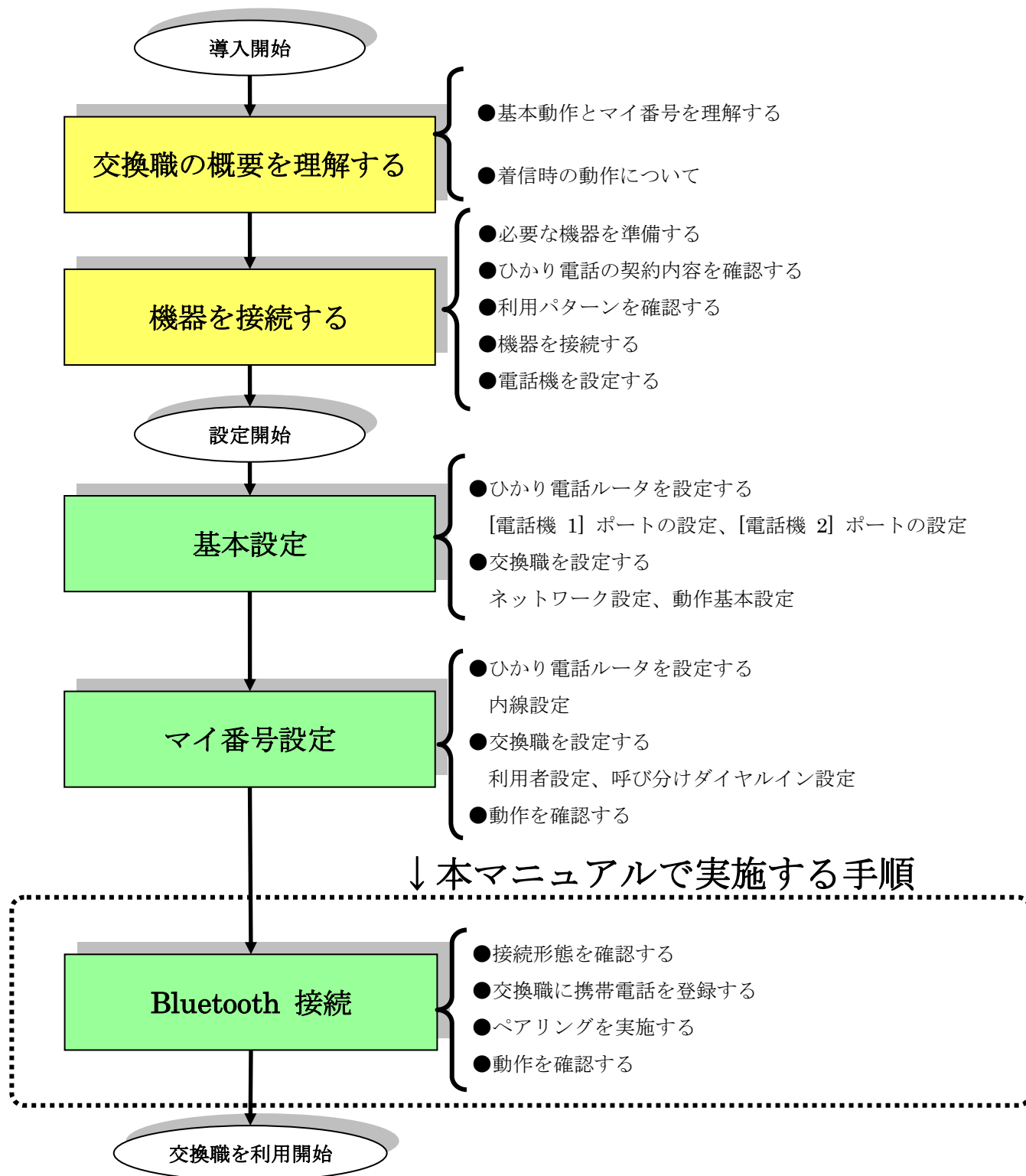
版数	更新内容
1.0 版	新規作成
1.1 版	キャリア選択機能の追加に伴い更新
1.2 版	バージョン 1.4.0 に合わせて更新
1.3 版	バージョン 1.5.0 に合わせて更新
1.4 版	交換職の電源を入れる前に Bluetooth アダプタを取り付ける手順に更新
1.5 版	本文中の記載について、軽微な修正
1.6 版	バージョン 1.7.0 に合わせて更新
1.7 版	バージョン 1.8.0 に合わせて更新

# 目次

1.	はじめに.....	1
2.	接続形態.....	2
3.	設定方法.....	3
3.1.	Bluetooth アダプタの取り付け確認.....	4
3.2.	交換機への携帯電話の登録.....	5
3.3.	ペアリング操作.....	8
3.4.	動作確認.....	11

# 1. はじめに

本マニュアルで実施する手順について



## 2. 接続形態

交換機は、「USB ポートに差し込んだ Bluetooth アダプタ」と「携帯電話」を Bluetooth で無線接続し、携帯電話網に接続します。4 つの Bluetooth アダプタを用いて 4 台 まで携帯電話を接続可能です。

また、交換機は有線 LAN でひかり電話ルータに接続し、ひかり電話網に接続します。

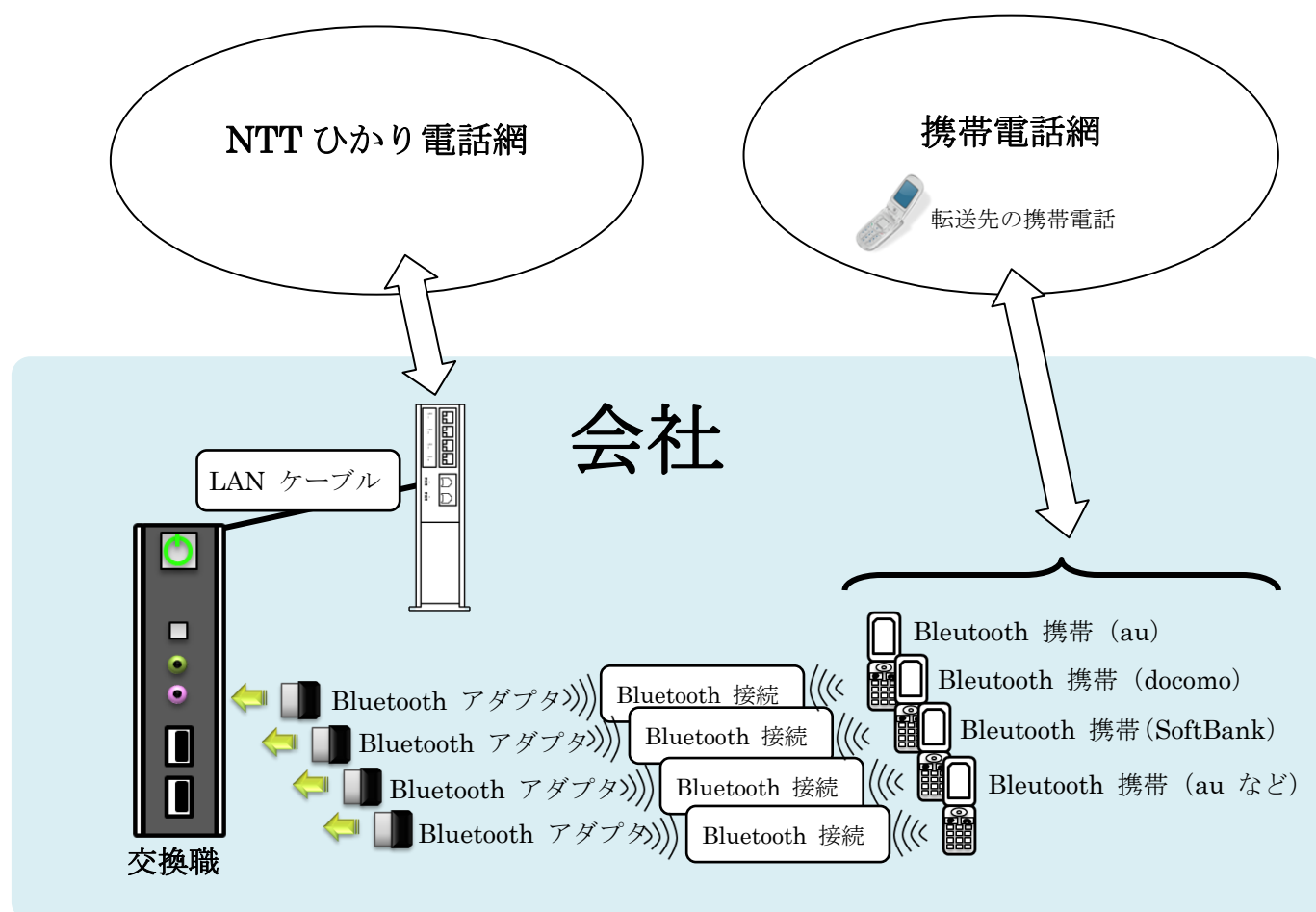
交換機に複数台の携帯電話を接続すれば、同時に 2 通話まで転送することができます。

転送先の携帯電話の会社に合わせて複数の会社の携帯電話を接続すれば、転送先と同じ会社の携帯電話を利用して転送する事もできますし、各キャリアの定額プランを契約しておけば任意の電話番号に転送を行う事も可能です。

マイ番号に登録した携帯電話から、交換機に接続した携帯電話に発信すると、会社の電話機が鳴ります。

登録されていない番号からの着信も、定額プランの契約をしてある携帯を利用すれば会社の電話機で受ける事ができます。

Bluetooth とは無線通信の規格の 1 つであり、交換機は Bluetooth のハンズフリープロファイル (HFP) を利用して接続した携帯電話を制御し、発着信を行います。



## 3. 設定方法

Bluetooth 接続を行う前に、「交換機・設定マニュアル（マイ番号設定編）」に記載された内容まで、設定を済ませておいて下さい。

Bluetooth 接続は以下の順で行います

- 1) Bluetooth アダプタの取り付け確認
- 2) 交換機への携帯電話の登録
- 3) ペ어링操作
- 4) 動作確認

「3.1」～「3.4」に、順番に手順を説明します。

## 3.1. Bluetooth アダプタの取り付け確認

- 1) Bluetooth アダプタが、交換機の USB ポートに接続済みであることを確認して下さい

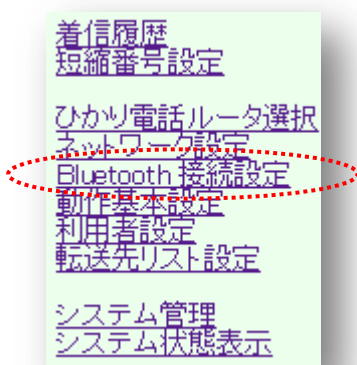
### ⚠️ ご注意下さい

取り付けしていない Bluetooth アダプタがある場合、交換機の電源を一度切ってから取り付け、再度交換機の電源を入れて設定画面にアクセスし直して下さい。交換機の電源のオン・オフについては「交換機-操作マニュアル」を参照して下さい。

### ❓ ヒント

交換機には Bluetooth アダプタが 1 個同梱されています。2 台以上の携帯電話を Bluetooth 接続する場合は、Bluetooth アダプタを別途用意して下さい。

- 2) 交換機の Web 設定画面で「Bluetooth 接続設定」をクリックして下さい



- 3) 次のような画面が表示されることを確認して下さい

【表示される画面の例】

- ・ Bluetooth アダプタを 2 つ接続した例

## Bluetooth 接続設定 ?

#	携帯端末名称	I/F アドレス	携帯アドレス	携帯電話会社
1	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:11	<input type="text"/>	docomo ▼
2	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:22	<input type="text"/>	docomo ▼

リセット    次へ

- ・ Bluetooth アダプタを 4 つ接続した例（最大）

## Bluetooth 接続設定 ?

#	携帯端末名称	I/F アドレス	携帯アドレス	携帯電話会社
1	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:11	<input type="text"/>	docomo ▼
2	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:22	<input type="text"/>	docomo ▼
3	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:33	<input type="text"/>	docomo ▼
4	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:44	<input type="text"/>	docomo ▼

リセット    次へ

## 3.2. 交換機への携帯電話の登録

- 1) 携帯電話の Bluetooth を「ON」にしてください。

### ? ヒント

NTT docomo (FOMA) の場合、設定メニューから「本体設定」 > 「外部接続」 > 「Bluetooth」 > 「Bluetooth オン」 で ON にできます。

携帯電話の Bluetooth の設定で、「セキュリティ」といった項目がある場合は「OFF」に、「探索受付」といった項目がある場合は「受付ける」に設定して下さい。設定を変更した場合「交換機への携帯電話の登録」の手順が終了したら元に戻して下さい。



- 2) 交換職の「Bluetooth 接続設定」ページを開いて「携帯端末名称」欄に携帯の機種名等を、「携帯アドレス」欄に携帯電話の Bluetooth アドレスを、「携帯電話会社」の欄は該当する会社名を設定してください。「携帯端末名称」は動作には影響しませんので、好きな名称を設定してください。

## ② ヒント

NTT docomo (FOMA) の場合、設定メニューから「本体設定」>「外部接続」>「Bluetooth」>「Bluetooth 設定」>「自局情報」で Bluetooth アドレスを確認できます。複数台の携帯電話を接続設定する場合、ここで全ての携帯電話の Bluetooth アドレスを入力してください。

### Bluetooth 接続設定

#	携帯端末名称	IF アドレス	携帯アドレス	携帯電話会社
1	<input type="text" value="P-07A"/>	AA:BB:CC:00:11:11	<input type="text" value="FF:EE:DD:00:11:11"/>	<input type="text" value="docomo"/>
2	<input type="text"/>	AA:BB:CC:00:11:22	<input type="text"/>	<input type="text" value="docomo"/>

- 3) 「次へ」ボタンを押し、その後に表示される画面によって、A)か B)を参照して設定して下さい。

A) ポートが自動認識されて、入力したアドレスの一覧が表示された場合

### Bluetooth 接続設定

#	携帯端末名称	IF アドレス	携帯アドレス	携帯電話会社	ポート(自動検出)
1	P-07A	AA:BB:CC:00:11:11	FF:EE:DD:00:11:11	docomo	3

「反映」ボタンを押して登録作業を完了し、次の「ペアリング操作」へ進んでください。

B) エラー画面になり、「ポートの検索に失敗しました」が表示された場合

## Bluetooth 接続設定

エラーが発生しました。

ポートの検索に失敗しました。アドレス 'FF:EE:DD:00:11:11' の携帯電話の Bluetooth が有効になっている事を確認してください

戻る

次の手順を実施してください。

- (ア) 交換職の「戻る」を押して「Bluetooth 接続設定」の一覧画面に戻ってください。
- (イ) 3.3「ペアリング操作」の 1) ～ 4)までを実行し、携帯電話でパスキー入力画面まで進んでください。
- (ウ) 携帯電話でパスキーに「1234」を入力して「確定」にカーソルを合せてください。

### 携帯電話の画面の例

Bluetooth パスキー  
を入力して下さい

1234

確定

## ⚠️ ご注意下さい

「確定」は押さないでください。  
また、タイムアウトしてしまった場合は、(ア)からやり直してください。

- (エ) 交換職の「Bluetooth 接続設定」にある「次へ」ボタンを押した直後に、携帯電話の「確定」を押してください

## ❓ ヒント

複数台の登録作業が難しい場合は、「3) の (ア)」の手順を除き、  
・「2)」から「3) の (エ)」  
の登録作業を 1 台ずつを行ってください。

- (オ) ポートが自動認識されて、入力したアドレスの一覧が表示されることを確認したら、「反映」ボタンを押して下さい。

## Bluetooth 接続設定

#	携帯端末名称	I/F アドレス	携帯アドレス	携帯電話会社	ポート(自動検出)
1	P-07A	AA:BB:CC:00:11:11	FF:EE:DD:00:11:11	docomo	3
					<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="反映"/>

(カ) 携帯電話で、クリアキーを押すなどして Bluetooth のトップ画面まで戻し、次の「ペアリング操作」に進んでください。

## ⚠️ ご注意下さい

ここまでの操作で携帯電話の登録機器リストに「KouKanShoku-X (X は数字)」が登録されてしまった場合は「機能」ボタンを押して登録を削除してください。

## 3.3. ペアリング操作

1) 交換職の「Bluetooth 接続設定」ページを開いて、一覧に各値が初期値として入力されている事を確認してください。

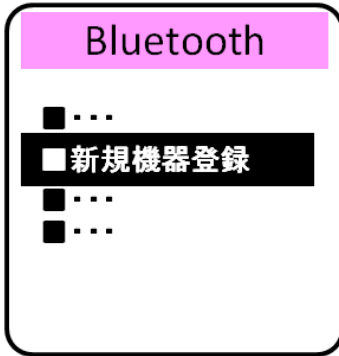
・Bluetooth アダプタを 2 つ接続した場合の例

Bluetooth 接続設定 ?

#	携帯端末名称	I/F アドレス	携帯アドレス	携帯電話会社
1	<input type="text" value="P-07A1"/>	AA:BB:CC:00:11:11	<input type="text" value="FF:EE:DD:00:11:11"/>	<input type="text" value="docomo"/>
2	<input type="text" value="P-07A1"/>	AA:BB:CC:00:11:22	<input type="text" value="FF:EE:DD:00:11:22"/>	<input type="text" value="docomo"/>
				<input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="次へ"/>

2) 携帯電話の設定メニューから「Bluetooth」を開いて「新規機器登録」を実行してください。

#### 携帯電話の画面の例



#### ① ヒント

検索の結果に「KouKanShoku-X」または「交換職に認識された I/F アドレスを持つ機器」が見付からない場合は、携帯電話と交換職を近付けるなどしてもう一度 携帯電話から「サーチ」を実行してください。

「KouKanShoku-X」の X は、X 番目のアダプタを示し、0(ゼロ)から順に割り当てられます。

- 3) 検索で見付かった Bluetooth 機器の中から、交換職の設定画面で Bluetooth 接続する携帯電話と対応付けてあるアドレスの機器を選択してください。

#### 携帯電話の画面の例



- 4) 「未登録機器です 登録しますか？」の質問が出たら、「YES」を選択してください。

#### 携帯電話の画面の例



- 5) 「Bluetooth パスキー」に「1234」を入力して「確定」を押してください。

#### 携帯電話の画面の例



- 6) 接続機能の一覧が表示されたら、「ハンズフリー」を選択してください。

#### 携帯電話の画面の例



### ❗ ご確認下さい

「ハンズフリー」が選択できない場合、手順の 2) からやりなおしてください。

- 7) 「相手に接続できませんでした、接続待機しました」と表示されたら「OK」を押してください。

## 携帯電話の画面の例



- 8) 1 分間隔で交換職から携帯端末へ接続処理が行われます。

しばらく待って、携帯端末の状態が「接続待機」から「接続中」になる事を確認してください。

接続中になったら、設定完了です。

## 3.4. 動作確認

- 1) 交換職の Web 設定画面で「システム状態表示」をクリックして「Bluetooth 接続状況」を確認し、「接続済み」が「Yes」になっていることを確認してください。
- 2) 転送先リストに登録がない電話番号から会社のひかり電話の電話番号に発信し、転送処理を実行させてください。
- 3) 転送先の携帯電話が呼び出され、転送先の携帯電話の液晶に Bluetooth で接続した携帯電話の番号が表示される事を確認してください。
- 4) 応答して、通話ができる事を確認してください。

### ② ヒント

会社の電話機から「1」に発信して交換職が応答した後、転送先リストに登録した電話番号をダイヤルすると、転送先リストに設定した回線を利用して、転送先リストに登録済みの携帯電話を呼び出すことができます。Bluetooth 接続した携帯電話の発信テストに便利です。

以上